

腹腔鏡手術は臍部と左右下腹部に3~4か所5~10mm程度の小さな穴をあけ、炭酸ガスを入れたり、お腹を吊り上げたりして腹腔内にスペースを作り、臍部からスコープを、左右下腹部から器具を入れて行う手術のことです。手術の傷が目立たず、術後疼痛が緩和されます。また入院期間が短く、早期に社会復帰も可能になります。